あさひば だより 5月号

秋津 桜木 桜木東 若葉

地域情報版

熊本市配布文書第20号
 令和6年(2024年)4月15日発行
 発行者: 秋津まちづくりセンター・公民館
 熊本市東区秋津3丁目15-1 電話368-2200
 akitsumachizukuricenter@city.kumamoto.lg.jp

★「あさひば」は、秋津まちづくりセンター管轄地域の愛称です。
 あ秋津、さ桜木、ひ桜木東、ば若葉

新年度のごあいさつ～よろしくおねがいます～

秋津まちづくりセンターに新しいメンバーが加わりました！地域に出向き、地域の困りごとを皆様といっしょに解決していきたいと思ひます。

人と人がつながり、町と行政をつなぐパイプ役として地域に貢献できるよう頑張ります

これからも、地域のみなさんと一緒に汗をかき、あさひば地域のまちづくりのお手伝いをさせていただきます

地域の様々な魅力を発見・発信し、多くの方に伝えていけたらと思ひます

地域担当職員 森 靖司

所長 北口 万起

地域担当職員 徳留 こずえ

みりよく

地域の魅力発見！

地域担当職員が地域を歩いて、「見て、聞いて、発見した」地域の魅力を発信していきます！

いきいきサロン

～健康測定会～

若葉校区

若葉のいきいきサロンで、約1年ぶりの健康測定会が開催されました。まずは、西町さん指導で準備体操実施。その後、グループにわかれ、握力測定・片足立ち、足趾力(足の指の力)の測定を行いました。測定するスタッフは、ささえりああさひばさんをはじめとする、医療・福祉・介護事業所の職員の皆さん。参加した皆さんは、ご自分の健康状態が気になる様子で、健康に関する相談もされていました。自分の体力や健康状態を知ることによって、生活で注意しなければいけないこともわかりますね。

熊本地震から 8年

災害はいつどこで発生するかわかりません。いざという時のために、日ごろから備えることが大事です。

～確認を！～

- ・家具の配置の確認
- ・非常食糧の備蓄
- ・非常用持ち出しバッグの準備
- ・安否確認の方法
- ・避難経路、避難所の確認

避難所の開設・運営について分かりやすく！

熊本地震から8年が経過しました。熊本地震の教訓から、本市では、地域と行政・施設管理者でスムーズに避難所を運営するため「避難所開設・運営マニュアル」を作成しました。そのマニュアルをさらに分かりやすくするため、秋津まちづくりセンターでは、避難所開設から運営

までの一連の流れをドラマをまじえて、DVDにまとめました。動画に出演いただいたのは、秋津校区防災連絡会を中心とした地域住民の皆さんです。ご出演いただいたみなさま、ありがとうございます。

このDVDは、各まちづくりセンターに貸出し用として置いてあります。地域の研修や会議等で活用されたい場合は、各まちづくりセンターのまちづくり班にお声かけください。

熊本地震の記憶を未来へ紡(つむ)ぐプロジェクト

どうにも言いようがない地震の恐ろしさ

熊本市70代民生委員男性

前震のとき、家を出るとすぐに知人の女性が「うちのお母さんが家におるはずだから、とにかく見て」と言ってきました。90歳ぐらいのおばあさんが、みのご造りの大きい家に一人で住んでいたのですが、地震後に駆け付けた娘さんが外から声をかけても反応がないと。だいたい家の中の間取りはわかっていたので、近くにいた人と2人で中を探しましたが、いらっしやなくて。

「おかしかね～」と言いながら2階に上がろうとしたところ、外に近所の人がたくさん集まっていたので、「ここのおばあさん誰か知らんね？」と聞くと、「次男の人が連れて行きましたよ」と。「ああ、よかったね」と言って、みんな帰っていきました。その後、本震の翌朝にその家の前を通ると、家がない。

屋根の一番上から道路までぺっちゃんこになっていたんです。

言ってもわからんでしょ、あの怖さは。どうにも言いようがない。

熊本地震の体験から導き出される教訓や、身につまされるお話を集めたエピソード集を作成し、熊本市のホームページに掲載しています。ご覧ください。

熊本市ホームページ